

様子や気持ちを表す言葉と手ぶくろを買いに

五年 組 番 名前

次の文章を読んで、後の問いに答えましょう。

■物語のここまでのあらすじ

(ア) つめたい雪で赤くなった子狐の手を見て、母狐は毛糸の手ぶくろを買ってやろうと思います。その夜、母狐は子狐の片手を人の手に変え、(イ) 銅貨をにぎらせ、かならず人間の手のほうをさしだすように言い、町に買い物に行かせました。

「お母さんは、人間は(ウ)おそろしいものだっておっしゃったがちっともおそろしくないや。だってぼくの手を見てもどうもしなかったもの。」と思いました。けれど子狐はいったい人間なんてどんなものか見たいと思いました。

ある窓の下を(エ)通りかかると、人間の声がしていました。何というやさしい、何という美しい、何というおっとりした(オ)声なんでしょう。

「ねむれ ねむれ 母の胸に、ねむれ ねむれ 母の手に——」

子狐はその唄声は、きっと(カ)人間のお母さんの声にちがいないと思いました。だって、子狐が眠る時にも、やっぱり母さん狐はあんなやさしい声でゆすぶってくれるからです。

(中略)

それをきくと子狐は急にお母さんが恋しくなって、お母さん狐の待っている方へ(キ)跳んでいきました。

お母さん狐は、心配しながら、坊やの狐の帰ってくるのを今か今かとふるえながら待っていましたので、坊やが来ると、(ク)温かい胸に抱きしめて(ケ)なきたいほど(コ)喜びました。

(『手ぶくろを買いに』新美南吉。出題にあたり一部書き改めたところがある。)

問一

文章中の 線部について、漢字の読みをひらがなで、ひらがなは漢字に直して に正しく書きましょう。送りがなが必要なものは送りがなも書きましょう。

(ア) つめたい

冷たい

(イ)

銅貨

どうか

(ウ) なきたい

泣きたい

(エ)

喜び

よろこび

問二

本文中の——(1)と(3)の言葉が何を表す言葉であるか後の□から選び、アとウの記号を書きましょう。

(1) おそろしい

イ

(2) 通りかかる

ア

(3) 声

ウ

ア 動きを表す言葉    イ 様子を表す言葉    ウ 物や事を表す言葉

問三

本文中の——(4)、なぜ子狐こぎつねは「人間のお母さんの声にちがいない」と思ったのでしょうか。本文中の言葉を使って、次の空らんには当てはまる言葉を書きましょう。

自分のお母さんも眠るときに「やさしい」声でゆすぶってくれるから。

お母さんの「様子を表す言葉」としてあてはまるものを本文から探してみよう。



問四

本文中の——(5)、子狐の「跳とんで」いく様子は、どんな気持ちを表していますか。次の中から最も当てはまる言葉を選び、番号で答えましょう。

ア 早く会いたい    イ 少し疲れた    ウ とても悲しい

ア

人間の親子を見ていて、自分も早くお母さんに会いたくなったんだね。



問五

本文中の——(6)、子狐を「温かい胸に抱だきしめ」た母狐はどんな母親であることがわかりますか。次の中から最も当てはまる言葉を選び、記号で答えましょう。

ア 疑うたがい深い    イ 用心深い    ウ 愛情あいじょう深い

ウ



他にも様々な母親像ぞうを読み取ることができそうだね。お母さんを表現する言葉を理由と合わせて考えてみよう。